

ゴール指向モデルを利用したソフトウェアテストの精度向上

日本ユニシス

沖汐大志

motoji.okishio@unisys.co.jp

テストにおける問題点

ソフトウェアの品質を確保するためには、ソフトウェアが要求仕様を満たしていることを網羅的に、かつ高い精度で確認する必要がある。網羅性はテスト技法で改善できるが、精度については、要件定義書の完成度やテスト担当者のスキルへの依存が大きい。テストの精度向上に有効な技法があるわけではない。

手法・ツールの適用による解決

要件定義書や設計書から得られる情報が不足している場合でも、ゴール指向モデルを作成することで、上位目標から要求までの関係を明らかにできる。KAOS法のゴール指向モデルを利用して、テスト担当者がテストの精度を向上する方法を提案する。

テストの精度向上手順

